資料５　算数科系統表【　A　数と計算　教材の系統表　】　１年

学年		１　　年										
学期		１ 学期						２ 学期			３ 学期	
単元		なかまづくりとかず	なんばんめ	いくつといくつ	あわせていくつ　ふえるといくつ	のこりはいくつ　ちがいはいくつ	10よりおおきいかず	3つのかずのけいさん	たしざん	ひきざん	20よりおおきいかず	ずをつかってかんがえよう
ねらい		10までの数について，個数の数え方や数の読み方，書き方，数の構成などを理解し，数を用いることができるようにする。	数を用いてものの順序を正しく表すことができるようにする。	10までの数の構成を理解し，数を多面的にみることができるようにする。	加法の意味と和が10以内の加法計算の仕方を考え理解し，確実にできるようにするとともに，それを用いることができるようにする。	減法の意味と被減数が10以内の減法計算の仕方を考え理解し，確実にできるようにするとともに，それを用いることができるようにする。	20までの数について，個数の数え方，数の読み方，書き方，数の構成などを理解し，数を用いることができるようにする。	3つの数の加減計算の仕方を考え理解し，確実にできるようにするとともに，それらを用いることができるようにする。	1位数どうしの繰り上がりのある加法計算の仕方を考え理解し，確実にできるようにするとともに，それを用いることができるようにする。	11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算の仕方を考え理解し，確実にできるようにするとともに，それを用いることができるようにする。	2位数について，個数の数え方や数の読み方，書き方，数の構成などを理解し，数を用いることができるようにする。	順序数や異種の数量を含む加減の場面，求大や求小の場面についても加減計算が適用できることを理解し，それを用いることができるようにする。
学ばせたいこと	中心となる考え	○条件や観点に応じて集合をとらえ，2つの集合の要素を1対1対応させて集合の要素の個数の表し方や比べ方を考える。 ○1～10までの数詞の読み書きや数の構成の仕方。 ○1～10の数の大小。 ○集合としての0の意味。	○順序や位置を数で表す。 ○□番は□人いるのに対し，△番目は1人である。 ○集合数と順序数の使い分け。	○具体物や半具体物による5～10の数の合成，分解。 ○1つの数を他の2数の和や差としてとらえる。	○合併や増加などの加法の意味。 ○和が10以内の加法計算。 ○1つの数を他の2数の和としてみる。 ○0を含む加法計算。	○減少や差などの減法の意味。 ○被減数が10以内の減法計算。 ○1つの数を他の2数の差としてみる。 ○0を含む減法計算。	○20までの数の数え方，書き方。 ○2ずつ，5ずつまとめて数える。 ○20までの数の構成，系列，大小。 ○数構成に基づく加減計算。 ○2位数に1位数を足す加法，または引く減法。	○前から順に計算をし，既習の2つの数の計算に帰着させて3つの数の計算をする。	○1位数どうしの繰り上がりのある加法計算で，加数（被加数）を分解して10のまとまりをつくって計算をする。（加数分解（被加数分解））	○10までの数の合成・分解などによる既習の減法計算を基にして，11～18から1位数を引く繰り下がりのある減法計算をする。	○「10といくつ」という既習の数の表し方の仕組みを基に，2位数や簡単な3位数を「10がいくつ」と10ずつまとめて数えたり，十進位取り記数法で表したりする。	○順序数を集合数に置き換えて加法計算をする。 ○異種の数量を同種の数量に置き換えて加減法を適用する。 ○求大の際に加法，求小の際に減法計算を適用する。
	用語	1,2，3，4，5，6，7，8，9，10,0			しき,こたえ,＋,＝, たしざん	ー,ひきざん	11,12,13,14,15,16,17,18,19,20,かずのせん				一のくらい，十のくらい，にじゅういくつ，さんじゅう，百，100	
関連教材		1年 「いくつといくつ」 「10よりおおきいかず」	1年 「なかまづくりとかず」 「10よりおおきいかず」 「20よりおおきいかず」	1年 「あわせていくつふえるといくつ」 「のこりはいくつちがいはいくつ」 「10よりおおきいかず」	1年 「いくつといくつ」 「10よりおおきいかず」 「3つのかずのけいさん」 2年 「たしざん」	1年 「いくつといくつ」 「10よりおおきいかず」 「3つのかずのけいさん」 2年 「ひきざん」	1年 「20よりおおきいかず」 2年 「3けたのかず」	1年 「10よりおおきいかず」 「たしざん」 「ひきざん 2年 「計算のくふう」」	1年 「3つのかずのけいさん」 「20よりおおきいかず」 「ずをつかってかんがえよう」	1年 「3つのかずのけいさん」 「20よりおおきいかず」 2年 「ひき算のひっ算」	1年 「10よりおおきいかず」 2年 「3けたの数」 「4けたの数」	1年 「のこりはいくつちがいはいくつ」 2年 「たし算とひき算」
意識させるキーワード		○えんぴつで印をつけてペアをつくって数を比べる。 ○おはじきにへんしん ○ペアをつくって数を比べる。 ○1つもない（何もない）ときは0。	○□番，□番目 ○□番は□人いる。 ○□番目は1人だけ。 ○上（下，左，右，前後）から	○□はいくつといくつ	○しき，こたえ ○あわせて，ふえると ○みんなで ○がったい ○がっちゃん ○たしざん	○のこりは，ちがいは ○ひきざん ○ばいばい ○多い，少ない	○10といくつ ○10のまとまり ○10と○で□	○じゅんばんに ○1つのしきで	○あわせて ○10のまとまり ○あといくつで10 ○10といくつ ○さくらんぼ	○のこりは ○10といくつ ○さくらんぼ ○10のまとまり	○10といくつ ○10がいくつ ○10のまとまり ○1（ばら）がいくつ ○10が10こで百 ○100 ○100は99より1大きいかず	○おはじきで ○丸図で ○図に描いて
筋道を立てて説明する		条件に応じて絵の中のものの集合や要素の数をとらえ，絵や半具体物を使って説明できる。	ものの順序や位置を数で表し，絵や具体物を使って説明する。	10までの数について，1つの数を他の2つの数の和や差としてとらえ，絵と半具体物を操作して説明することができる。	和が10以内の加法計算の仕方を1位数の構成に着目して考え，半具体物を操作して説明することができる。	被減数が10以内の減法計算の仕方を1位数の構成に着目して考え，半具体物を操作して説明することができる。	20までの数について数の構成や加減法の仕方を考え，印をつけたり半具体物を操作したりして説明することができる。	3項の計算を，既習の加減法の計算に帰着させて考え，それを基にして説明することができる。	1位数どうしの繰り上がりのある加法計算の仕方を考え，既習の加減計算や数の構成を基に説明することができる。	「10いくつ」を「10といくつ」ととらえ，半具体物を操作しながら繰り下がりのある減法計算について説明することができる。	2位数や簡単な3位数を既習の数の表し方を基にして数え，絵や半具体物を操作しながら数の表し方を説明することができる。	順序数や異種の数量を含む加減計算，求大求小の場面での加減計算について，半具体物や図を使って説明する。
まるごと活用					生活科で育てた野菜の数を加法計算で求める。	生活科で育てた野菜の数やその差を減法計算で求める。					新入生にプレゼントするためのあさがおの種の数を調べる。	
その他												